

令和 2 年

第 1 回教育委員会会議録

(開会 令和 2 年 1 月 20 日)

(閉会 令和 2 年 1 月 20 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和2年1月20日午前9時00分開会

会場：市役所4階第3会議室

出席委員

竈橋義朗君（教育長）

伊藤小百合君（教育委員）

小栗照代君（教育委員）

生駒隆昌君（教育委員）

丹羽千明君（教育委員）

説明のために出席した者

瀨瀬新吾君（事務局長）

奥村恒也君（学校教育課長）

伊佐治 晃君（学校教育課主任指導主事）

小川隆行君（学校教育課指導主事）

辻原詩織君（学校教育課学校支援係）

河地直樹君（こども課長）

石原雅行君（教育総務課長）

玉野貴裕君（学校給食センター所長）

堀田 誠君（教育研究所主任指導主事）

牛江明美君（学校教育課学校支援係長）

水野伸治君（子育て支援課長）

出席委員会事務局職員

服部賢介君（教育総務課総務係長）

圓藤 亨君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①議案第1号 令和2年度全国学力・学習状況調査の参加について（原案可決）

②議案第2号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について（原案可決）

6 報告事項

・ 可児市子ども・子育て支援事業計画（第2期）の策定について

7 各課所管事項

8 委員からの提案協議事項

9 その他

10 閉 会

開会の宣告

- **教育長（笹橋義朗君）** 改めまして、おはようございます。
令和2年の第1回教育委員会会議を開催させていただきます。ありがとうございます。
いよいよきのう、NHKの大河ドラマ「麒麟がくる」が放送されまして、ことしも1年の幕が切って落とされました。また皆さん方には、いろいろその方面でもお世話になりますので、よろしく願いいたします。
では、開会ということで、定足数につきましては過半数を満たしておりますので、この会議、成立するというところでお願いします。

前回会議録の承認

- **教育長（笹橋義朗君）** では、前回会議録の承認についての説明を教育総務課長。
- **教育総務課長（石原雅行君）** 変更ありません。
- **教育長（笹橋義朗君）** 12月の会議については、会議録変更なしということでよろしく願いいたします。

教育長報告

- **教育長（笹橋義朗君）** では、次、教育長報告ということで、この年末年始、私、教育長になって初めて何の情報も入ってこなかったという、喜ばしいというか、穏やかに年末年始を過ごさせていただきました。これも各学校での日ごろの活動の成果、結果だと思っております。大変学校のほう、現場に感謝しなきゃいけないなあというふうに思って、校長会と教頭会でもそういうふうにお礼を申し上げてきました。
1月5日、消防出初め式に参加しました。毎年のことですけれども、市民の生命と安全の最前線に立ってもらっている隊員たちの表彰と訓示ということでありましたが、毎年のことですが、よろしく頼むという願いをする気持ちでいっぱいになりました。最近ちょっと暖かいところでやっていますので、いいんですけれども、歴史のある消防団ですので、皆さん、また各地域でリスペクトしていただければありがたいなと思います。
1月11日は「麒麟がくる」のドラマ館と、それから企画展、明智光秀博の開会式に行きました。皆さん、御出席ありがとうございました。あれから実況100人ぐらいの行列ができるまで、午後、盛況であったという報告を受けましたが、平日はそんなにたくさんじゃないんですけれども、土・日は、今後はいっぱいの人に来てほしいなあということを思っています。学校のほうについても、全学校の一つの学年が行くということで、チケットの寄附をいただきながら、子供たちも見て、盛り上げてくれるということで、我々も学校も協力していくということになっておりますので、皆さんもよろしく願いしたいと思います。
それから、成人式、参加ありがとうございました。これも非常に落ちついた成人式でありました。ボランティアの人たち、企画の人たち、3人という、ことし少なそうでしたけれども、しっかりやってくれました。来年の企画をしてくれる人たちも来てくれて、来年はまた多いボランティアになってくるということで、また期待をしていきたいなど

思っております。会場については、非常に年々静粛になってきております。ちょっと中学3年のころは元気のある学年でしたけれども、みんな成長してくれたのかなあというふうに思ってお安心をしました。

もう一つ、a1aとの共催で、ワークショップのためにイギリスから専門家が来日してくれまして、東可児中、兼山小、それから今渡北小に来て、4日間にわたってコミュニケーションワークショップのレベルの高いワークショップを見せていただきました。子供たちも大変喜んでくれて、今後もa1aとの協力のもとに、コミュニケーション教育には力を入れていきたいなあと思っております。

以上、教育長報告を終わります。

教育委員報告

- **教育長（籠橋義朗君）** では、教育委員報告ということで、生駒委員お願いします。
- **教育委員（生駒隆昌君）** 改めまして、おはようございます。

令和2年になり初めての委員会になりますが、ことしは学校の制度もいろいろプログラミングが始まったり、いろんなことがあるので、またこの中での協議がすばらしいものになっていけばいいなあというふうに思います。

では、前回からの後の行事の御報告をさせていただきます。

1月11日、教育長が先ほど言われましたが、大河ドラマ館のオープンに参加させていただきました。非常に多くの人がかかわり合って、このドラマ館というのがオープンしたなというふうに思いました。教育委員会の所管の中からは外れましたが、いろんな意味で、我々もこれからは協力していかなきゃいけないなあということを再度思いました。

ドラマ館の中では、明智光秀の自画像、絵が飾ってあったんですが、それを見たときに、やっぱり歴史はすごい、やっぱり何百年たってもそれを伝えていく力があるんだなというふうに思いました。地方から見える方も、やはりそういったときに、ドラマ館とか、今の明智荘というものを皆さん楽しみにしてみえておりまして、昨日も大河ドラマに出られる徳重さんがお見えになったんですが、明智荘という場所をモデルにつくっているところに来たということで非常に感激してみえました。これからそういったところを思い浮かべながら、ドラマの中でも演じていくというふうな感じを受けました。やっぱり大河という大きなイベントですので、その中でいろんなことが起こっていくんだなというふうに感じました。

1月12日、成人式に参加させていただきました。八百有余名の参加者があるということでしたが、先ほど教育長も言ってみえましたが、残念なことに実行委員会のメンバーが3名しか見えずに、次年度の実行委員の方が大変協力して企画をやっていただいたということに非常に感謝しております。やっぱり自分たちのイベントということでやらなきゃいけないので、少しでも多くの実行委員会のメンバーが参加してもらって、自分の成人式をやっていくというスタイルをもう少し続けていっていただきたいなということと、やはりもう少し大きく実行委員会のメンバーを探せるような窓口もつくっていくのが、これからいいかなというふうに思いました。以上です。

- **教育委員（伊藤小百合君）** おはようございます。

1月11日に、明智光秀の博覧会の式典に出席しました。「麒麟児・みつひでクン」の

歌と踊りを見るのは初めてで、佐藤梓さんの歌と、瀬田幼稚園の園児さんたちが歌って踊っている姿を見て、とてもほほ笑ましく見せていただきました。会場のほうは、既存の施設を生かして設置されていて、お土産の種類もとても多くて、可児市のアピールにも手が込んでいるというのをとても感じました。

翌日の12日、成人式に出席させていただきました。記念イベントでは、各学校の写真が映し出されると、やっぱり懐かしさなどで、すごく大きな声で反応する新成人も見られて、私もとても楽しく見せていただきました。偶然なんですけれども、席の後ろに座っていた新成人の子が、子供が同じ分団でお世話になった子だったんですけれども、向こうもちょっとわからなかったみたいで、お互いにあれっみたいな感じだったんですけれども、すごく月日の流れるのが早いなあというのを改めて感じました。

きのうなんですけれども、ちょっと個人的に家族で郷土歴史館と、花フェスタの同じ会場だったんですけれども、大河ドラマ館のほうを見に行ってきました。先に郷土歴史館のほうに行ってきて、子供がちょっと肖像画とかにも興味があったので、見てきたんですけど、人数も結構その時間、行ったのはちょっと午後だったんですけど、二、三十人ぐらいは結構入ってしまっていて、私の見間違いかもしれないんだけど、その日なのか、ちょっと前の日も合わせてなのか、わからないんですけれども、二百何人ぐらいとかと言われていたので、ちょっと人数ははっきりわからない、とにかくすごく大勢の人数が来ているというのを以前の校長先生がおっしゃってみえて、子供もすごく興味津々で、2人とも見ていたんですけど、やっぱり歴史で聞いている光秀の姿とは、実際に見てみて自分との印象が違ったという、どうだったのと聞いたら、いや、何か優しそうとか、きりっとしているとか、いろいろ言っていましたけど、肖像画の中に文字が入っているのもしっかり見ていたみたいで、それも特に上の子とかは読んで頭に入れて帰ってきたみたいで、勉強になったみたいです。ドラマ館のほうとかも行って、見せていただいて、結構楽しく過ごしてきました。以上です。

- **教育委員（丹羽千明君）** おはようございます。ことしもよろしくお願ひいたします。

私も「麒麟がくる」のドラマ館オープン、見せていただきました。昨日の「麒麟がくる」の放送後に可児市が映り、また可児市という言葉が全国に広まったということで、これからますます光秀のイメージも変わり、可児市も注目されると思います。可児市の子供たちも、ドラマも見て、またドラマ館も見て、可児市をまた誇りに思うようになるといいかなあと思います。

それから、1月12日の成人式ですが、私の都合により参加できませんでした。本当に申しわけございません。

報告は以上です。

- **教育委員（小栗照代君）** おはようございます。ことしもよろしくお願ひします。

私も、皆さんと同じようにドラマ館のほうに、記念式典のほうに参加させていただきました。皆さんおっしゃられたので、同じような感想になってしまうんですが、違うところだと、先ほど1校に1学年はドラマ館に招待いただけるということだったんですけれども、せっかく可児市でこのようにドラマもやって、光秀についてもいろいろと歴史を学んだり、可児市の歴史も学ぶいいきっかけになりますので、それぞれお金を払っ

て入らなきゃいけないのか、わからないんですけれども、ぜひ可児市の小学校・中学校の皆さん、みんなに行っていただきたいなあという気持ちが大変大きいです。それで、可児市のことをしっかりと学んでいただいて、その歴史を知っていただいて誇りに思っただけでいいかなあと思います。

我が家は、本当に歴史は、伊藤委員のところと違って、余り興味がないんですけれども、そういう子供たちも、これをきっかけにちょっと興味を持てるようになるんじゃないかなあということで、いい方向に子供たちにも働きかけていけたらいいなあと思います。

そして成人式、12日に私も参加させていただきました。実行委員の方がいて、大変一生懸命やってくさいまして、すばらしい成人式だなあと。初めて拝見したんですけれども、とてもすばらしい成人式を自分たち主催でやっているんだなあというのを、身をもって知りまして、皆さんすごいなあと思いました。

私ごとですが、長男が20歳でして、ちょうど参加されている皆さんと同じ年齢だったんですが、うちの息子も成長してきたんだなあ、20歳までといろいろな思いを、新成人の皆さんと同じようにステージを見ながら感想を持たせていただいたということになります。

実行委員を選ぶことで、先ほど生駒委員もおっしゃったんですが、それを息子に聞いても、そういうのを募集しているのがよくわからなかったというようなことも言っていましたので、やはりもう少しアピールして、実行委員の方をどんどんやっていただける方をふやしていくと、もっともっと盛り上がるんじゃないかなと思いました。以上です。

○ **教育長（笹橋義朗君）** ありがとうございます。

それぞれの御意見ありますので、事務局のほう、反映することをしていただきたいなあというふうに思います。

議事

○ **教育長（笹橋義朗君）** それでは、次に議事に行きたいと思います。

○ **事務局長（瀬瀬新吾君）** それでは、議案書をごらんください。

表紙の裏ページ、目次のとおり、本日は議案が2件です。

議案第1号 令和2年度全国学力・学習状況調査の参加について、議案第2号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、以上よろしくお願いします。

○ **教育長（笹橋義朗君）** それでは、本日の議案は2件であります。

議案第2号の要保護及び準要保護児童生徒の認定について及び児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録についてに関しては、個人情報やプライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開としたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議ないようですので、この件については非公開といたしたいと思います。議事の進行上、最後に議事といたします。

では、議案第1号 令和2年度全国学力・学習状況調査の参加についてを議題といたします。

- **学校教育課長（奥村恒也君）** よろしくお願ひします。
 それでは、議案書の1ページのほうをごらんください。あわせて、別紙1として全国学力・学習状況調査に関する実施要領をお手元に配付させていただいておりますので、あわせてごらんください。お願ひします。
 議案第1号 令和2年度全国学力・学習状況調査の参加について。
 令和2年度に実施される全国学力・学習状況調査の参加については、下記のとおりとする。令和2年1月20日提出、可児市教育長 籠橋義朗。
 記、令和2年度全国学力・学習状況調査に参加する。
 それでは、補足を担当のほうよりさせていただきますので、よろしくお願ひします。
- **教育研究所主任指導主事（堀田 誠君）** よろしくお願ひします。
 別紙の令和2年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領の資料をごらんください。この実施要領の中に詳細な内容がありますが、特に16ページですが、お願ひします。実施日ですが、令和2年4月16日木曜日です。
 それから調査対象ですが、小学6年生、中学3年生です。
 対象教科ですが、令和2年度は小学校が国語・算数、中学校は国語・数学の2教科、それから両方とも児童・生徒質問紙の3構成で来年度は行われます。以上です。
- **教育長（籠橋義朗君）** 以上の説明、例年どおりということですがけれども、皆さん方、御意見、御質問ございましたらお願ひします。
- **教育委員（生駒隆昌君）** 例年どおりというふうなお話ですが、少し教えていただきたいのは、9ページの部分で、5項と6項のところですけど、障がいのある児童・生徒に対する配慮ということと、可児市の場合は一番大事になってくると思います日本語指導が必要な児童・生徒に対する配慮ということなんですけど、具体的に可児市の場合はどういったふうにやるかなということをちょっと教えていただければと思います。
- **教育研究所主任指導主事（堀田 誠君）** まず、障がいのある児童・生徒については、ルビ入りの問題用紙、問題にちょっとルビが入っているもの、それから特に6番、日本語指導が必要な、日本語を読めない外国籍の子が多いので、そういった生徒に関しては、これも同じようにルビが入った、日本語が余りわからなくても、平仮名等を振り分けることによって問題が解けるようにという形で、日本語がわからないからといって問題が解けないという不利益さをカバーできるようには配慮してやっています。各学校から何名見えるのかというのを聞いて、学校のほうにその用紙を渡しています。
- **教育長（籠橋義朗君）** これは、受けないこともできるというふうに書いてあるんやけど、例年どうなんやね、可児市は。
- **教育研究所主任指導主事（堀田 誠君）** 外国籍の子も含めて、まずほぼよっぽどの事情がない限り受けています。
- **教育長（籠橋義朗君）** 学校で配慮はしていないということか。
- **教育研究所主任指導主事（堀田 誠君）** 御本人がどうしても受けられないという場合は事情があるので、そういった方は当日の様子を見て受けないこともあります、基本全員受けます。
- **教育委員（生駒隆昌君）** ありがとうございます。

ルビを振るということなんですけど、やっぱり多国籍にわたってはおると思うので、ルビなのか、翻訳したものなのかという非常に微妙なところがあるということで、翻訳すると、当初の問題とは違う受けとめ方になる可能性があるので、非常に難しいかなというふうに思いますし、もう一つ聞きたかったのは、例えばこれで調査をした段階で、例えば可児市の場合は、外国籍の方がかなり多いということを報告の中の一枠というか、そういう中には反映されるわけですか。文科省のほうに出す学力……。

- **教育研究所主任指導主事（堀田 誠君）** 外国籍が何人という選考学区に関しては、特に人数を報告することはないです。
- **教育委員（生駒隆昌君）** 単純に6年生と中学生というくくりの人数、受けた総数のみで、内容については、男女比とか、外国籍というものは全くないということですか。
- **教育研究所主任指導主事（堀田 誠君）** 全くないです。
- **教育委員（生駒隆昌君）** 可児市独自で、それをちょっと調査するというのもないわけですか。
- **教育研究所主任指導主事（堀田 誠君）** ないです。
- **教育委員（生駒隆昌君）** わかりました。ありがとうございます。
- **教育長（竈橋義朗君）** ほか、よかったですでしょうか。

〔挙手する者なし〕

それでは、御意見もないようですので、この議案につきましては、原案どおり承認するというにいたしたいと思います。よろしくお願いします。

報告事項

- **教育長（竈橋義朗君）** それでは、報告事項に入ります。
可児市子ども・子育て支援事業計画（第2期）の策定についてをお願いします。
- **子育て支援課長（水野伸治君）** よろしく申し上げます。
現在策定しております、今御紹介いただきました子ども・子育て支援事業計画（第2期）の案につきまして、本日、子育て支援課とこども課でお邪魔しております。御説明のほう、させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。
まず、A4・1枚物のほうの資料をごらんいただきたいと思います。
1番の計画の概要についてでございますが、こちらの計画は、子ども・子育て支援法に基づく市町村計画でございます。市として取り組んでおります子育て支援政策の理念ですとか、体系等を明確にいたしまして、市の重点方針の一つでもあります「子育て世代の安心づくり」の実現に向けまして、子育て支援の方向性を定めていくものでございます。
第2期となります今回の計画の策定に当たりましては、第1期の計画の内容を基本といたしまして、また新たに実施したり、充実させた取り組みなどを位置づけまして、またそれとともに、子ども・子育て支援新制度に該当する国の支援の対象となります15の事業に関しまして、それぞれのニーズ、それからそれに対する確保の内容を位置づけるものでございます。
計画の期間といたしましては、令和2年度から6年度までの5年間としてございます。

内容につきましては、主な記載事項として第3章から第5章の3つを上げてございますが、このあたりはもう一つの資料の計画書のほうで御説明をさせていただきたいと思っておりますので、計画書の1ページをお開きいただきたいと思います。

左側が目次となっておりますので、こちらをごらんください。

こちらの計画につきましては、6章までで構成してございます。

第1章は、計画の概要となっております、今申し上げました法的な位置づけですとか、計画期間のほうを記載してございます。

第2章につきましては、統計とアンケート調査から見えました子ども・子育てを取り巻く現状ですとか、課題ということで、市の児童人口、それから出生数、それから入園状況等の推移に加えまして、本市の教育・保育ニーズ、あと各種子育て支援サービスの利用状況、また利用の意向などにつきまして把握した上で、第5章で取りまとめます各事業での量の見込みを算定するための基礎資料としてございます。

第3章につきましては、計画書の23ページと24ページをごらんください。

第3章は、計画の基本理念と視点としてございます。

第1期計画の期間中に、子育て支援の拠点であります子育て健康プラザ マーノの開館ですとか、また子育て世代包括支援センターやこども応援センターぱあむ、こちらによります切れ目のない支援によりまして、新たに取り組んでまいりましたが、外国籍の子供や貧困などの困難を抱える子供の支援といった新たな課題に取り組むことが求められておりますことから、基本理念は、第1期に引き続きまして「マイナス10カ月からつなぐ まなぶ かかわる 子育て」としまして、「“可” 可能性あふれる“児”（こ）どもがそだつまち 可児」、こちらを市として目指してまいります。

また次のページ、計画の視点としましては、法的な支援だけではなく、子ども・子育て家庭を中心に、地域、社会全体で子育てを進めていきますことから、計画の視点をつなぐ、学ぶ、かかわるとしてございます。

続いて、27ページをお願いいたします。

第4章、施策の展開としております。

重点方針の子育て世代の安心づくりを実現するために、子育て支援の重点課題を計画の視点に沿って大きく5つに分類しております。切れ目のない包括的な支援を市全体で展開してまいります。

例えば、この1つ目でございますが、つなぐという視点になりまして、重点課題をマイナス10カ月から全ての親・子供・家庭を対象とする切れ目のない支援の仕組みとしておりまして、この重点課題に対しまして、各担当課が予算事業ごとになります、予算事業ごとにどういった取り組みを行っていくのか、またどのように子育て支援を推進していくのかをそれぞれ小項目ごとに整理してございます。ほかの4つの課題につきましても、このように課題ごとに施策を整理してございます。

次に第5章、38ページになりますので、お願いいたします。

ここでは、子ども・子育て支援新制度に基づきます各事業ごとに、量の見込みと確保の内容、提供区域等を設定してまいります。

次の40ページをお願いいたします。

子ども・子育て支援新制度に基づきます事業といたしますが、この表にあります全15

の事業になります。量の見込みといたしますのが、第2章にありましたニーズ調査の結果ですとか、人口推計、また今までの実績などから導き出された利用者等の見込みの数になります。また、確保の内容といたしますのが、実際にサービスを提供できます量や定員のことを指してございます。実際にこの15の事業を提供するに当たりまして、区域の考え方としましては、放課後児童健全育成事業、いわゆるキッズクラブのみ各小学校区を単位としてございますが、そのほかの14の事業につきましては、基本的に市内全域を提供区域としていきます。

次のページをお願いいたします。

ここからは各事業ごとになります。第1期計画期間の5年間における実績値の表と、あとその下、今後5年間における事業の量の見込み、あと確保の内容、こういった表になります。そして、一番下に提供体制の考え方を示させていただいております。

この41ページにつきましては、教育事業ということで、幼稚園や認定こども園におきまして、3歳児から5歳児の幼児を保育する事業になりますが、この教育事業の提供体制の考え方といたしましては、幼稚園にはある程度一定のニーズがございます。しかしながら、対象人口の人口は減少していきまして、業務の見込みとしては減少していくと見込まれますので、教育事業につきましては、現状のままで十分な確保ができていると考えております。

令和2年度で見てもみますと、1,488人と見込まれる児童数に対しまして、2,830人分の確保ができているということになります。あとの重要な事業につきましても、このように考え方をそれぞれ示させていただいておりますので、ちょっとここでは割愛させていただきます。

最後、第6章につきましては、71ページをお願いいたします。

この計画を推進してまいりますために、家庭、地域、民間事業者、行政の役割のそれぞれ明確にいたしまして、連携を図って子ども・子育て家庭の支援に取り組んでいくとしております。

それでは、もう一度、最初のA4の1枚物の資料のほうに戻っていただけますでしょうか。

裏面の2でございますが、これまでの経緯と今後の予定になります。

計画の策定につきましては、可児市子ども・子育て会議に9月に諮問をさせていただいております。その後、子ども・子育て会議におきまして、計画案について御審議いただきまして、今月8日に市長のほうへ答申をいただいております。そして、先週の金曜日、17日よりこの計画の案につきましてパブリックコメントを実施しておりまして、広く意見をいただいた上で今後計画を策定していく予定でございます。

御説明のほうは以上でございます。ありがとうございます。

- **教育長（笹橋義朗君）** 説明ありましたが、皆さん方、御意見、御質問でございますでしょうか。
- **教育委員（生駒隆昌君）** 今、説明本当にありがとうございます。

細かいことはちょっと内容を見ないとわからないので、あれなんですけど、基本概念ということで、「マイナス10カ月からつなぐ まなぶ かかわる 子育て」という大きいカラー刷りのものがあると思うんですけど、その中でちょっと見ていきたいなあと

いうふうに思いましたが、まず我々教育委員の中では、やっぱり小学校・中学校という義務教育の部分が大事になってくると思うんですけど、今この中に少し書いてありましたけど、小1プロブレムということでもいろいろ書いてありますが、幼保小連携協議会というのが教育委員を中心にあると思うんですけど、その中での小1プロブレムの対策の中で、スタートプログラムとか、アプローチプログラムということはこの何年間ずうっとやってきたと思うんです。幼稚園・保育園から小学校へ上がっていくという中で。

その部分の31ページの「まなぶ：まなびにつなぐ（公助・自助）」の中の2番目のところに、小学校へのスムーズな適応を図るため、子供の状況に応じた適切な就学支援を行いますというところに、小1プロブレムに対応するカリキュラムを作成、実践するというふうに書いてありますが、現時点で、今までスタートカリキュラムやアプローチプログラムというようなことも何年か、数年続けてきておるので、この文章だけを見ると、これから新たにやるというようなスタイルにとられる部分もあるので、現状としてはそういう流れを今までやってきて、今、小1プロブレムに対する実施をやっているというようなこともつけ加えておいていただけると少しありがたい。今までの何年か、この数年、幼保小の中でやってきたことですので、そういった部分も入れていただけるといいかなというふうなことをちょっと感じました。

あと、この大きな枠の中の色づけの中に、やはりちょっとキッズクラブについては全く触れていない部分があって、細かい状況の放課後子育て支援とかということでは書いてありますが、やはりキッズクラブについても少し書いておいていただけるといいかなあというふうなことも思いましたので、そんな意見です。よろしくお願いします。

- **教育長（籠橋義朗君）** パブリックコメントも出ていますので、内容は変わるといふわけではちょっと難しいことがあるので、がしかし、今の意見、ここの中にあることがあるので、その辺の答弁はお願いしたいと思います。
- **教育委員（生駒隆昌君）** いかがでしょうか。
- **子育て支援課長（水野伸治君）** 今、生駒委員からいただきました小1プロブレムの表現の仕方につきましても、当初、こども健康部になるときからの事業を、今回全庁的にどういった事業をやっていくかということのを拾い上げたものをベースに今回上げさせていただいておるんです。ちょっと細かいスタートプログラムというのが、表現はないんですが、ちょっと各担当課のほうで上げていただいた事業を載せさせていただいておりますのと、細かいところまで突っ込めるかどうか……、申しわけありません。
- **教育委員（生駒隆昌君）** いえいえ。そんなことをやっておったということだけは、覚えておいていただかないとやっぱり無駄になってしまうものになってきますので。
- **子育て支援課長（水野伸治君）** あと、もう一つの健全育成事業、キッズクラブのほうにつきましても、補助対象事業ということもありまして、どうしても健全育成事業が前面に出てきてしまいますので、どこかで添え書きみたいな形でキッズクラブもわかるような形でできればと思いますので、その辺済みませんが、よろしくお願いします。
- **教育委員（生駒隆昌君）** まだ充実した事業ではないので、余り表には出したくないという意図はわかりますが、そんなような意見ということで、済みませんが、よろ

しくお願いしたいと思います。

○ **教育長（笹橋義朗君）** ほか、よかったですでしょうか。

〔挙手する者なし〕

じゃあ、ちょっと私のほうから少し。

つなぐ、まなぶ、かかわるということで見せてもらおうと、つなぐについて、横のつながりは結構つながっているように私は見受けるんだけど、ことし、去年とかいうふうに見ていると、縦のつながり、要するに我々の立場からいくと、ここに書いてある就学支援のほうで、教育委員会との連携をもっととってもらいたいというのがあって、現実、就学支援をしなきゃいけない人の数がことしは激減しております。いろんなそごがあったとは思いますが、そんなに1年で変わるような数字ではない数字が変わっているんで、その辺のつながり、学校とのつながりの部分をもっとつながってほしいとか、丁寧にやってもらって、子育てについては、ここにあるように、対象としては中学校までということが想定されているので、お互いが、教育委員会も就学前のほうにかかわらなきゃいけないし、子ども・子育て関係も就学後についてもかかわってもらいたい。それがつなぎ、連携であるということなので、小学校へ入るまでという部分にきっちりされると労力が2倍になるわけなので、そうじゃなくて、お互いに入り込んで協力を、つながってほしいなあというのを思いますので、ここに書いてはありますけれども、留意してもらおうようにお願いしたいと思います。

ほかはよかったですでしょうか。この際、言っていただくとよいかなあと。

今はもう難しいかもしれんけど、最後の子ども・子育て会議の委員は、教育委員会は入っていないんやね。

○ **教育委員（生駒隆昌君）** 私もそう思いました。

○ **教育長（笹橋義朗君）** 何で入っていないのかなあと今思うんだけど。

○ **教育委員（生駒隆昌君）** 会議委員の名簿の欄に教育委員の関係者はいないかなと。

○ **教育長（笹橋義朗君）** 最後、75ページだけど。

○ **教育委員（生駒隆昌君）** 教育委員会関係者は……。

せっかく幼保小連携推進協議会というものもありまして、会長というのも教育委員がやっておる流れの中で、この中の委員の名簿にはないですよ。

○ **教育長（笹橋義朗君）** その辺のところを、ちょっと今後、だからこういうことになってくるかなあというふうに思うんだけど、その辺の意見を聞く対象を考えてもらいたいので、よろしくをお願いします。

ほか、よかったですでしょうか。

○ **教育委員（小栗照代君）** 内容についてはではないんですけど、今いきなりいただいて、ちょっと御説明いただいて、なかなか全部この時間で把握するのは難しいので、事前に例えば資料をお送りいただくとかということをお願いしたいなと思います。

○ **教育長（笹橋義朗君）** それも、例えばこの中の誰かが委員になっていけば、報告をしたり、その時点でするので、やっぱり我々も連携したいので、これ、また今回訂正するとかということはないんだけど、知った上で話をしたいので、今後よろしくをお願いします。

ほかはよかったですでしょうか。

〔挙手する者なし〕

それでは、今出た意見等を反映しながら、この計画で進めていってもらいたいと思いますし、教育委員会のほうとの連携をさせていただきたいということ申し添えて、お願いします。よろしくお願いします。

各課所管事項

- **教育長（竈橋義朗君）** それでは、次に各課所管事項に入ります。
- **事務局長（額瀨新吾君）** 特にございません。
- **教育総務課長（石原雅行君）** 特にございませんが、教育振興基本計画のパブリックコメントを1月10日から30日まで実施しています。今のところ意見はありません。以上です。
- **学校教育課長（奥村恒也君）** 学校のほうの今の動きとしまして、校長会のほうで、学校長にそれぞれ依頼をしているところにつきましては、一つは人事評価について、それからもう一つは、人事異動の異動業務についてということがこの時期クローズアップされてくるところでございます。

人事異動につきましては、今肅々と教育事務所のほうの担当課と連携をしながら進めているところでございますが、現在の傾向としましては、なかなか人員の確保に厳しさがあるということを聞いております。産休・育休補充者に該当する常勤講師の方であったりとか、それから本務の教員もそうなんですけれども、ニーズに対して提供できる人数が非常に限られていて、厳しい状況が予想されるというようなことを聞いておりますけれども、今後さらに事務所との懇談を詰めながら、欠員等が生じないように進めていきたいというふうに今動いているところでございます。

また、学校長のほうには、人事異動にかかわる個々の職員との丁寧な懇談、それから人事評価にかかわる丁寧な懇談を今後適切に進めていくようにということで依頼をしているところでございます。

大きくは、以上のようなところでございます。

- **教育研究所主任指導主事（堀田 誠君）** 2月7日ですが、福祉センターにおいて生活発表会があります。御参加のほう、皆さんよろしくお願いします。

それから、お手元のところに案内をお配りしましたが、2月22日、23日ですが、可児市小中美術展・特別支援学級作品展を実施いたしますので、a 1 aのほうで行いますので、そちらのほうもよろしくお願いいたします。以上です。

- **学校教育課長（奥村恒也君）** 済みません、1点漏らしました。

机上に、令和元年度卒業証書授与式における告辞者についてということで、依頼の文書をお配りさせていただきました。本年度の卒業式にかかわる日程、中学校は3月6日金曜日、それから小学校が3月25日水曜日となっておりますので、そこにそれぞれ委員の皆様方、御依頼をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。よろしくお願いします。

- **学校給食センター所長（玉野貴裕君）** 特にございません。

- **教育長（竈橋義朗君）** 一通りの説明が終わりました。

御質問、御意見ございましたらお願いします。

- **教育委員（丹羽千明君）** 学校教育課のほうで質問したいんですが、ことしの4月からの英語が小学校5年・6年、教科になるかと思うんですが、その準備というのは今までされてきたと思うんですが、急に例えば低学年の担任の方が高学年の5・6年になることもあるかと思うんですが、そういう方のも含めて準備というのは、状況はどうでしょうか。
- **教育研究所主任指導主事（堀田 誠君）** 教科化には、かにかっこ英語サポーターさんを中心に今年度当初から、来年度から教科化されることはわかっていますので、指導案や、本当に先生方が、専門じゃない先生方も困らないような支援体制とか、そういうのは確実に行われているので、本当におっしゃられたように、いきなり低学年から高学年になっても大丈夫なように、また逆に1年生も外国語活動という形でやりますので、そういったのも含めてどの学年でも対応できるようには現在準備、万端とまではいかないですが、かなりのレベルで準備が整っているんで、実際にふたをあけてみて先生方がお困りだったら、研究所のほうに言っていただければ、サポート体制は充実しております。
- **教育委員（丹羽千明君）** あと、英語の時間もふえるということになるわけですか。
- **教育研究所主任指導主事（堀田 誠君）** ふえます。5・6年生が70時間、3・4年生が35時間、これがきちんとした授業で、時間割りの中にきちんと教育課程の中に位置づけてやることになります。
- **教育委員（丹羽千明君）** ありがとうございます。
- **教育長（籠橋義朗君）** 英語については、もう五、六年前からかにかっこ英語ということでやり始めて、その後に英語の授業の教科化が入ってきているので、可児市の場合だと、専門の英語の研究者を招いて、ボランティアも加えて、初めてかかわる先生方も指導案をこちらがつくってあげて、それにのっかってやれるという作業も既に終わっていますので、そういう部分では、ほかのまちと比べると相当進んでいて、先生方も喜んでいただけていると思っていますけれども。そういう状態ということでのいいのかな。
- **教育研究所主任指導主事（堀田 誠君）** はい。そういうことになります。
- **教育長（籠橋義朗君）** ほか、よかったでしょうか。
- **教育委員（生駒隆昌君）** 学校教育課長に。

人員不足ということで今お話がありましたけど、可茂地区、岐阜県全部の中でやっぱり人員不足というような状態になっていると新聞等の報道にも載っておりましたが、やはり子供たちの今の状況を考えると、もうその一言ではなかなか片づけられない部分もありますし、もう一つは、働き方改革ということで、先生方の多忙感をなくすという意味でも、人員が減っていると、ないという部分ではやっぱり解決できないと思いますので、これはどういう形でも人を集めていただくような策をとっていただくというようなことを考えていただかないといけないと思いますし、これは一部の学校ですけど、学校としては教頭先生がもう一名欲しいとか、主幹、いわゆる管理職の部分の先生が欲しいという学校もありますので、そういった部分も対応できるように、少し柔軟に人員を確保できるような施策を考えていっていかなければ、今我々が進めておる働き方改革だったり、そういった子供たちへのきめ細やかな事業とか、見守りということがな

かなか難しくなってくるのだと思いますので、もちろん教育事務所もそこに向かっていろんなことを考えてみえるとは思いますが、その部分を、各市町村から何とかしてくれという声がやっぱり一つでも上がることによって、事務所としても、県としても対応していただけたらと思いますので、可児市教育委員会としては、人員不足ということは重々わかってはおりますが、そういった中で、やっぱり何とか人員を確保できるような施策を事務所のほうにお願いしたいということ、この場をかりて切にお願いしたいと思いますし、今の可茂地区の地教連の会長職をやるのが可児市ということで例年なっておりますので、そういった部分でも、そういった部分をお願いしたいということ、これをこれからも言っていきたいと思いますので、十分な人員を確保できるように要請をお願いしたいことを思います。

○ **学校教育課長（奥村恒也君）** ありがとうございます。

これまで県としてとられてきた施策の一つに、再任用制度というのがございますけれども、なかなかそれが拡大していかないというところに一つの課題もあるかなというようなことは思っております。またそういった面についても、管理職含めて、再任用制度の拡充であったりとか、また処遇等についての改善についての要望は、市としても出していききたいなあということは思いますし、また市のほうとしましても、何とか常勤の講師のほうに、スクールサポーターの支援員をやっておっただいていただいている方々等にできるだけ声をかけさせていただきながら、少しでも御協力いただけるような人を求めているようにしていきたいというふうには動いていきたいと思っております。ありがとうございます。

○ **教育委員（生駒隆昌君）** 本当に極端なことを言うと、スクールサポーターもふやすというようなことなんですけど、やはり予算的に今かつかつで、厳しいという部分もあって、なかなか人をふやすということも難しいかと思うんですけど、スクールサポーターもふやしていただきたいですし、外国籍の方が見えるということで、外国籍の方への支援ということで、ほかから支援をしているポケットクをもっとふやすとか、やっぱりそういった部分までも深く考えて、ちょっとこの働き方改革、人員確保という部分を重点的にやっていただけるといいなというふうに思います。よろしく願います。ありがとうございます。

○ **教育長（笹橋義朗君）** 人員不足については、数年前から県のほうに言いながらも、ないと。絶対数がないと。教員採用試験の倍率が毎年減ってくると、なり手がいないと。長期的に考えると大変なことになっていくことがわかるので、短期的には、そういう例えば生駒委員のと、広見小の教頭職とか、その辺の複数化とかいうことを初めとして要望はしていくんですけども、絶対数が足りないという長期的な問題をどうするかというと、可児市、じゃあどうするかというと、学校の働く環境をよくして、先生は魅力がある職業であるということを発信するしか方法がなくて、人が来てくれないと全然だめなので、そういう活動を今して、学校に働き方改革をお願いしながら、可児市の教育界を魅力あるものにしたいということと、それぞれの要望活動をしていくという長期と短期のあわせて行動をしていかなきゃいけないなあと思いますが、本当にそれで、欠員のまま今学校運営されている学校もあるようですので、超短期的には、皆さん、お知り合いに教職の免許を持ってみえる方が見えたら御紹介ください。

よろしくお願いをしたいと思います。

ほか、よろしかったでしょうか。

- **教育委員（生駒隆昌君）** もう一つ、済みません。

この今の教育研究所からの便りのほうに書いてあったんですけど、2学期制に関するアンケートをまた新たにとられるというようなことが書いてありますが、この時期にとられるということは、やっぱりデータの的にちょっと集めるという感じですか。ちょっと説明していただけるとありがたいです。

- **教育研究所主任指導主事（堀田 誠君）** 昨年度、この時期、昨年度は11月にやっただんですけど、経年変化、昨年度から2学期制が実施されたので、正直、昨年度は保護者も余りぴんとこないというのが実際だったので、まるっと1年たってどうなのかというところも含めて見ていきたいなあという形で、今年度もアンケート調査を実施させていただきます。

- **教育委員（生駒隆昌君）** これは、運用については、一応アンケートをとり、研究所に集約して校長会にて報告ということがありますが、以前、議員さんとの懇談の中でもこのことを取り上げられて、どういうふうになっておるんやというようなお話もありましたけど、そういった部分は今後考えていくということではよろしいですか。

- **教育長（笹橋義朗君）** 研究所が考えている学校の気持ちはどんなふうに感じているのかな。アンケートという正式なものではなくて、学校の様子は、2学期制になってから。

- **教育研究所主任指導主事（堀田 誠君）** 2学期制は、職員に関しては、特に小学校などは昨年度もそうでしたけど、3学期のころに比べると本当に12月、1月がうんと楽になって、本当に思いのほか、小学校の先生のほうありがたいという言葉がありました。本当に時間外勤務に関しても、非常に負担が減ったというのが好評だったというのが実感です。

でも、保護者のほうが、どうしても去年、教育課程が3学期制を2学期制にしたところがありますので、今年度、2学期制に合わせた教育課程、学校行事等も含めて各学校等も考えているので、きっと多分保護者のほうも、大分実感として少しずつ湧いてきているんじゃないかなというふうには、予想として、アンケートをとる前ですけど、感じています。

ちょっとまた結果を見て、思わぬ結果だったら、やはり保護者のほうの理解も必要なので、校長先生等、学校のほうに働きかけていきたいという形で、まず結果を見て、ちょっと分析したいなというふうに思います。分析等については、また教育委員会会議のほうにも提出したいなと思います。

- **学校教育課長（奥村恒也君）** 時間外勤務の傾向もちょっと。

- **学校教育課主任指導主事（伊佐治 晃君）** 追加でお願いします。

まだ資料がないので申しわけないですが、4月から時間外勤務の記録をとっております。80時間未満ということで考えますと、どの学校も右肩上がり、つまり80時間未満の先生がふえております。特に小学校ではそれが顕著で、中学校でもやっぱり校長先生方の職員への働きかけも懇談もありまして、80時間未満の先生がふえているという傾向に今可見市はあります。またデータをまとめて、ここへ資料として提出したいと思います。

- 教育委員（生駒隆昌君） ありがとうございます。
- 教育長（笹橋義朗君） ほか、よかったですでしょうか。
〔挙手する者なし〕

委員からの提案協議事項

- 教育長（笹橋義朗君） それでは、御意見もないようですので、委員からの提案協議事項について、何かございますでしょうか。
〔挙手する者なし〕

今の御意見の中で、資料等作成の要望がありましたので、研究所のほう、学校教育課のほう、資料をまとめて提出をしていただきますので、よろしくお願ひします。

その他

- 教育長（笹橋義朗君） 提案についてはとりあえずないということで、その他、次回の日程について。
- 教育総務課長（石原雅行君） 次回の日程ですが、前回決めていただきました2月17日月曜日の午前9時からでお願いいたします。場所が市役所の4階第1会議室になりますので、お間違えのないようお願いいたします。
その日ですが、終わりましたから学校規模の適正化について政策会議を実施したいと思いますので、よろしくお願ひいたします。
あと、委員会のほうも新年度の予算案や補正予算、あと組織についての条例案を出したいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。また、きょうそれについて政策会議のほうで、説明を少しさせていただきたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。
あと、臨時の教育委員会会議ですが、既に事前に委員さんに確認をさせていただいていますが、3月4日水曜日の午後2時から、こちら教育長室でお願いしたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。
あと、3月の日程ですが、3月23日月曜日はいかがでしょうか。
〔「大丈夫です」の声あり〕

では、3月23日月曜日の9時からということでお願いいたします。以上です。

- 教育長（笹橋義朗君） それでは、3月の日程まで決めてもらいました。よろしくお願ひします。

それでは、ここで10時20分に再開したいと思いますので、一旦休憩をとりたいと思います。よろしくお願ひします。

（学校給食センター所長、子育て支援課長、こども課長退席）

休憩 午前10時06分

再開 午前10時20分

- 教育長（笹橋義朗君） それでは、時間過ぎましたので、会議を再開いたします。

（以下非公開）

（以上非公開）

閉会の宣告

- 教育長（笹橋義朗君）では、以上で予定されていた議案は全て終了いたしました。御協力ありがとうございました。

これにて教育委員会を閉じさせていただきます。

閉会 午前10時48分